

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	スポーツ推進委員活動事業			
担当部署・課長名	社会教育 課	生涯学習 係	課長名	高田匡章

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	1 - 5	-
【施策名】 スポーツ・レクリエーションの推進	総合計画書(ページ)	43	

予算名	款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	1 保健体育総務費	事業	2 スポーツ推進委員活動費
-----	---	--------	---	---------	---	-----------	----	---------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	東大和市民 →	市内在住者
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	市民に対するスポーツの推進 →	スポーツに興味ある市民
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	2年間の任期で委嘱し、年12回の定例会を開催し、各種スポーツイベントへの応援や主催イベントの実施。 →	定例会の回数 イベントの回数

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	86,044	85,857	85,698	
	成果指標	②の数値	人	-	-	-	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	回	26	25	22	

3 経費	事業費(実績)	円	3,058,790	3,655,222	3,492,330	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源					
	一般財源	円	3,058,790	3,655,222	3,492,330	
	特定財源	円				
	(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)					
所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3		
所要人数(再任用)	人					
職員人件費(再任用以外)	円	2,480,100	2,475,900	2,473,200		
職員人件費(再任用)	円		0			
事業費+人件費	円	5,538,890	6,131,122	5,965,530		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	スポーツ振興法第19条に基づき、東大和市体育指導員に関する規則が、昭和37年4月1日に施行。このスポーツ振興法は平成23年4月1日に全面的に改正され、スポーツ基本法が施行された。スポーツ基本法第32条に基づき、平成23年9月1日に、東大和市スポーツ推進委員に関する規則が施行された。スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに、住民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導、助言を行うことを目的として活動し開始当初と比較し、状況の変化はありますか。
	「スポーツ基本法」の理念としてスポーツを権利としていることも踏まえ、ますますスポーツに対するニーズが高まっており、スポーツ推進委員の役割は重要なものとなっている。

仕 事 の 内 容	スポーツ推進委員活動事業			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名 高田匡章

5 市民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	近年力を入れている障害者スポーツを紹介する試みの中で、ポッチャ体験会は特に好評で、参加者からも次回も参加したいとの声をいただいている。

6 市民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取組みは無い	取組手法
	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		
熱意ある市民からスポーツ推進委員を選出しているため、現在の委員は適していると感じる。		

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容
	各事業、担当だけではなく委員が一丸となって議論し、最善の策を考えていく。
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。
イベントの主担当以外の委員も、各委員の仕事の状況等をみながら協力しあって、事業を実施した。また、反省は全員で行い改善を図っている。	
(3)(2)を踏まえた今後の課題	
引き続き、イベントごとに反省点を改善し、市内のスポーツ振興を図る。	

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）
	反省点を次年度に確実に引き継ぐこと。 また他市や他団体と協力して実施するイベントについても、事前の調整を行いながら実施する。
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等
推進委員が議論しやすいための環境を整える。また他団体と推進委員とのスムーズな連絡調整に努める。	
(3)改革・改善案による期待成果	
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。	

成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。
----	----------	----	-------------